

# 1年生「グローバル探究」連携授業報告（A講座）

日 時：平成29年1月20日（金） 9：35～10：25  
平成29年1月27日（金） 11：40～12：40

講 師：前田 征利 氏（前田工織株式会社代表取締役社長）

テーマ：日本の進むべき道

対 象：本校生徒40名（1年生SGH生徒A講座40名）

内 容：

## （1）明治維新が成功したのはなぜか

- ①日本人の識字率が非常に高かった。（寺子屋による教育の普及）
- ②人々が世界に目を向けていた。（例：岩倉使節団）
- ③欧米から知識人、教育者を招いた。

## （2）訪れてほしい場所

- ①豊田佐吉記念館：「障子をあけてみよ、外は広いぞ」
- ②霊山歴史館：幕末、明治維新期の歴史を紹介



## （3）勉強してほしいこと

- ①日本の近現代史を勉強してほしい。  
海外の人と交流する際、自国の歴史観や文化的素養が必要。
- ②本を読んでほしい。  
気に入った所をノートにメモするなどして、書く作業を生活に取り入れよう。

## （4）「混ぜる」ことの大切さ

前田工織株式会社は、繊維業と土木業を組み合わせ、「ジオテキスタイル」の分野に進出した。時代の変化や社会の変化に対応するために、さまざまな分野の人と混ぜり合うことによってイノベーションを生み出すことが大切だ。

日本は、1960年代後半に世界第2位の経済大国になった。これからは、自国や自社の成長だけでなく、世界がどう進むべきかを考えながら、自分たちができること（技術提供など）をやるべきだ。特に、アジア諸国との協力関係は大切だ。

## （5）「夢」の大切さ

$$\sum_{n=1}^{\infty} P_n = P_1 + P_2 + \dots$$

P：夢、やりたいこと

これからの社会は、人々の夢の集合体であってほしい。日本では、豊かさを手に入れた多くの人が幸せな暮らしをしているが、そのせいで「夢」を持ちにくくなっている。昔は経済的、物質的に恵まれないことが多く、人々はやりたいことや欲しいものを追いかけていた。

若い人たちには、自分のやりたいことを見つけ、「好き」と思えることを続けていってほしい。「好き」なことは長続きするし、やっても疲れない。だから自分のものになる。

#### (6) 身に付けてほしい力

英語を使って人々とコミュニケーションできる力を身に付けよう。世界のいろいろな人と話ができる、一緒に混ざって仕事ができるようになると、人生が豊かになる。



#### (7) 高校での勉強について

勉強を「イヤなこと」と思わないでほしい。人生の中で、徹底的に勉強する時期は絶対に必要だ。自分を鍛えて、将来世の中に貢献できる人になるという気持ちを持ってほしい。

#### (8) 自分への投資

夢を実現するためには、自分への投資を惜しまないことだ。高校・大学での勉強、読書や旅行、人との出会い・会話など、あらゆることが自分を成長させてくれる。躊躇せず、いろいろなチャンスをものにしてほしい。自分への投資は「ノーリスク・ハイリターン」だ。

#### (9) 「社長」という仕事

前田工織には、約 1,000 人の社員がいる。社長という仕事は、社員の人生に大きく関わる、責任のある仕事だ。だから、今後も会社を存続させる義務がある。そのためには、世界の動き、社会の変化をしっかり見て、新しい時代に合った事業を展開していかなければならない。そして、その事業内容が社会貢献になるようにと常に考えている。

#### (10) 「目標」の大切さ

高志高校生の皆さんには、常に目標を掲げて進んでほしい。「あの山に登りたい」という目標を持っていると問題意識が芽生え、何かに気付いたり大切な人に出会えたりするようになる。その気付きや出会いが自分を成長させてくれる。目標は必ず自分のプラスになって返ってくる。

#### (11) 大局着眼 小局着手

世界の情勢、社会の変化にしっかり目を向けよう。自分にできること、自分がすべきことは何かを考えよう。それができる人になろう。

